分野1. 母子保健 分野1. 母子保健 おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <基本理念> <市民のあるべき姿> いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ いつまでもいきいきと暮らすことができる <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標1> 生涯にわたる健康づくりを進めます 生涯にわたる健康づくりができる 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 (分野別最終アウトカム) (中間アウトカム) サービスの状態(中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 具体的な取組 指標 指標 母子保健 分野1 母子保健 プレコンセプションケアの啓発を含めた生涯の健康 全ての親と子どもが、心身とも健やかに安心して暮ら 全ての保護者とこどもが、心身とも健やかに安心して 妊娠、出産を支援します 1 市民が安心して妊娠できる 1 こども・若者が健康な生活を送ることができる すことができる の基盤づくり 暮らすことができる 1-1 20歳未満(15~19歳)の喫煙率 子育てしている保護者とその子どもが心身とも健やか 子育てしている保護者とそのこどもが心身とも健やか 不妊、不育症相談 . 妊娠11週以下での妊娠の届出率 若年層に対する健康教育・啓発の実施 に安心して暮らしていると感じる割合 に安心して暮らしていると感じる割合 1 – 2 (新規追加)小学生5年生の肥満割合 不妊、不育症治療費助成 (男子・女子) 妊娠適齢期の啓発 妊娠、出産の支援 2 市民が安心して妊娠できる 妊婦健診助成券の交付と検診費用助成 2 母子健康手帳発行時にフォロー不要であった妊 産後うつ対策 不妊、不育症に関する相談支援 婦の割合 妊産婦への経済支援 2 市民が妊娠から出産、育児期までを安心して 子育てを支援します 妊娠期を心身ともに健康に過ごせる支援 過ごすことができる 2 出産後の4か月健診で、毎日の生活に不安なく 乳幼児訪問 過ごせている人の割合 3 市民が妊娠から出産、育児期までを安心して 親子対象の健康教育 健やかな子育ての支援 過ごすことができる 3 出産後の4か月児健診で、毎日の生活に不安 産後うつへの対策 児童虐待予防と早期発見 なく過ごせている人の割合 乳幼児健診の実施 親子対象の健康教育 育児相談 育児相談・保健指導の実施 乳幼児健診の実施及び適切な事後フォローの実施 子育てに関するアウトリーチ 多胎児家庭への育児支援 育児困難家庭の早期把握と早期対応 多胎児家庭への育児支援 未熟児、疾病のある児を支援します 未熟児養育医療費給付 健康や発達に課題のあるこどもの発育発達や療養 4 市民が安心して子育てできる 小児慢性特定疾病医療費助成 の支援 4 幼児健診で「子育てに充実感がある」と答えた 疾病のあるこどもへの相談支援 人の割合 発達障害がある又はその疑いのある子どもの健全 3 市民が安心して子育てできる 発達相談の実施と相談支援に関する周知 な成長を支援します

3 幼児健診で「子育てに充実感がある」と答えた

人の割合

発達相談の実施と相談支援に関する周知

分野2.健康づくり 分野2.健康づくり おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <市民のあるべき姿> <基本理念> いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ いつまでもいきいきと暮らすことができる <基本目標1> <あるべき姿(基本目標1)> 生涯にわたる健康づくりができる 生涯にわたる健康づくりを進めます 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 施策が出しているべき効果 取組の総称 サービスの状態(中間アウトカム) (中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) (分野別最終アウトカム) 具体的な取組 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 指標 健康づくり 分野2 健康づくり 1 市民が健康につながる正しい知識や情報を得 市民が健康につながる正しい知識や情報を得 市民が、疾病予防に努めるとともに、病気の有無に 市民が、疾病予防に努めるとともに、疾病の有無に 健康に関する情報を発信します 健康に関する情報発信の推進 かかわらず、前向きに自分らしく暮らすことができる かかわらず、前向きに自分らしく暮らすことができる ることができる ることができる 健康づくりに関する情報へのアクセス数(大津市 病気の有無にかかわらず、前向きに自分らしく暮らす 健康づくりに関する情報へのアクセス数(大津市 病気の有無にかかわらず、前向きに自分らしく暮らす 健康教育の実施 健康教育の実施 ことができていると感じる市民の割合 ホームページ) ことができていると感じる市民の割合 ホームページ) 健康推進員の養成 健康推進員の養成 受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支 受動喫煙防止に関する啓発 無関心層や意識の低い人への啓発 健康無関心層を含めた全ての人への啓発 効果的な情報発信 2 市民が健康を維持するための生活習慣に取り 2 市民が健康を維持するための生活習慣に取り 健康のために運動をしたくなる環境を整えます 運動に取り組みやすい環境の整備 組むことができる 組むことができる ウォーキング等の身近な運動に取り組みやすい環境 ウォーキング等の身近な運動に取り組みやすい環境 【2 − 1 肥満者(BMI 2 5以上)の割合 2 毎日飲酒している人の割合 (40-64歳男性) 3 20歳の時の体重から10kg以上増加してい 【2 - 2 やせ (BMI18. 5未満) の割合 (20-39歳女性) る人の割合 3 運動習慣者の割合(1日30分以上の運動を 4 日常生活において歩行又は同等の身体活動を 週2回以上のペースで、1年以上続けている人の割 1日1時間以上実施している人の割合 健全な食生活が実践できる市民を増やします 食育の推進 5 睡眠で休養が十分にとれている人の割合 4 睡眠で休養がとれている人の割合 5 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している 食育の推進 6 たばこを習慣的に吸っている人の割合 食育の推進 人の割合 家庭で受動喫煙の機会を有する人の割合 6-1 20歳以上の喫煙率 6-2 20歳未満(15~19歳)の喫煙率 市民が健全な食生活を送ることができる環境を整 朝食を欠食する人の割合(20~39歳) 健康おおつ21応援団の充実 健康な食生活を送るための環境の整備 給食施設への指導・支援 健康おおつ21応援団の充実 給食施設への指導・支援

働く市民が健康に過ごすことができるようにします

地域・職域連携推進事業の推進

受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支

生活習慣病を予防し、いくつになっても、自分らしく 前向きに生活できる市民を増やします

特定保健指導の実施

健康相談や栄養相談の実施

自分の健康への関心を高めます
健康教育
各種健康診査の充実
各種がん検診の充実
ウイルス性疾患等の早期発見
歯周病検診の実施
要精密検査対象者への受診勧奨
受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支援

3 市民が各種検診(健診)を受けて病気の早 期発見や健康管理ができる

- 8 定期的にがん検診を受けている人の割合 (例:大腸がん)
- 9 特定健康診査受診率

がんを早く見つけて、医療につながるようにします

がんに関する知識の普及

がん検診の受診率の向上

がん検診の質の向上(精度管理)

がんになっても、自分らしく生活できるようにします

がん患者の療養支援

情報提供と相談支援の充実

働く世代への支援(事業所向け啓発)

4 市民に病気があっても支援を受けながら生活 することができる

10 病気があっても、主観的健康観が「とても健 康」、「まあまあ健康」と答えた人の割合

健康づくり 様式2

働く世代の健康づくりの推進

地域・職域連携推進事業の推進

生活習慣病の予防の推進

国民健康保険特定健康診査・特定保健指導の実

健康意識の向上のための支援

健康教育の実施

がんに関する知識の普及

各種健診・検診情報の効果的な発信

歯・口腔の健康の推進

歯周病検診受診率の向上

幼児期からのう蝕予防による健全な歯・口腔の育成

がんの早期発見・早期治療の推進

がん検診の受診率の向上

がん検診の質の向上(精度管理)

3 市民が各種検診(健診)を受けて病気の早 期発見や健康管理ができる

- 8 定期的にがん検診を受けている人の割合(5 がん平均:市民意識調査)
- 9 大津市国民健康保険特定健康診査受診率
- 10 過去1年間に歯科検診を受診した人の割合

がん患者への支援の推進

がん患者の療養支援

情報提供の充実

4 市民が、がん、及び生活習慣病になっても支 援を受けながら生活することができる

- 11 がんの治療や検査を受けながら働き続けること ができると感じている人の割合
- 【12 血糖コントロール指標におけるコントロール不 良者(HbA1c 6.5%以上)の割合(40歳以
- 1 3 血圧(収縮期血圧)140mmHg以上の 人の割合(%)(40歳以上)

生活習慣病重症化予防の推進

生活習慣病重症化予防対策

糖尿病になっても、自分らしく生活できるようにしま す

糖尿病性腎症の重症化予防プログラムの実施

治療対象者への受診勧奨

医療機関同士の連携体制の構築

家族・支援者等への教育支援

おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <市民のあるべき姿> <基本理念> いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ いつまでもいきいきと暮らすことができる <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標1> 生涯にわたる健康づくりを進めます 生涯にわたる健康づくりができる 市民がなっているべき状態 取組の成果 市民が受けているべき 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 (中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) サービスの状態(中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 具体的な取組 指標 分野3 高齢者支援 高齢者支援 1 市民が高齢になっても要介護認定・要支援認 1 市民が高齢になっても要介護認定・要支援認 市民が、高齢になっても健康を維持でき、生きがいを 市民が、高齢になっても健康を維持でき、生きがいを 介護予防の推進 介護予防に取り組めるよう支援します 定・総合事業対象者とならずに生活することができ 定・総合事業対象者とならずに生活することができ もっていきいき暮らすことができる もっていきいきと暮らすことができる 健康を維持でき、生きがいをもっていきいきと暮らすこ 要介護者・要支援者・総合事業対象者の割合 健康を維持でき、生きがいをもっていきいきと暮らすこ 介護予防活動の支援 介護予防活動の支援 要介護者・要支援者・総合事業対象者の割合 (各年4月1日) とができていると感じる高齢者の割合 とができていると感じる高齢者の割合 介護予防サポーターの養成 介護予防サポーターの養成 介護予防の普及・啓発 介護予防の普及・啓発 おおつ光ルくん体操やいきいき百歳体操等の自主グ おおつ光ルくん体操やいきいき百歳体操等の自主グ ループへの支援 ループへの支援 2 要支援者・総合事業対象者となっても介護予 2 要支援者・総合事業対象者となっても介護予 介護の重症化予防に取り組めるよう支援します 介護の重度化予防のための支援 防サービスを利用して生活することができる 防サービスを利用して生活することができる 2 要支援者・総合事業対象者のうち介護予防・ 2 要支援者・総合事業対象者のうち介護予防・ 介護予防・生活支援サービス事業 生活支援サービスを利用して生活している人の割合 介護予防・生活支援サービス事業 生活支援サービスを利用して生活している人の割合 (4月実績) 3 市民が認知症になっても住み慣れた地域で安 3 市民が認知症になっても住み慣れた地域で安 認知症予防対策の推進 認知症の早期発見に取り組みます 心して生活することができる 心して生活することができる 3 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生 3 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生 活することができるかという問いに「そう思う」、「ややそ 活することができるかという問いに「そう思う」、「ややそ 認知症の早期発見・早期対応の充実 認知症の早期診断・早期対応の充実 う思う」と答えた市民の割合 う思う」と答えた市民の割合 認知症の人の生活におけるバリアフリー化及び社 認知症の方を地域で支える仕組みをつくります 会参加の推進 認知症を正しく理解し、地域で支える体制の構築 認知症を正しく理解し、地域で支える体制の構築 認知症の方とその家族を支援します 認知症の相談・支援体制の整備 ■認知症の人や家族介護者への支援 認知症の人や家族介護者への支援

分野2. 高齢者支援

分野3. 高齢者支援

分野4. 難病支援 分野4. 難病対策 おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <基本理念> <市民のあるべき姿> いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ いつまでもいきいきと暮らすことができる <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標1> 生涯にわたる健康づくりができる 生涯にわたる健康づくりを進めます 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 サービスの状態(中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) (分野別最終アウトカム) (中間アウトカム) アウトカム指標 指標 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 具体的な取組 指標 分野4 難病支援 難病支援 難病患者が安心して在宅療養ができるように支援し 難病患者や家族が、望む場所で望む人と、安心して自 難病患者の生活の質(QOL)が高くなってい 難病患者や家族が、望む場所で望む人と、安心して自 難病患者の生活の質(QOL)が高くなってい 在宅療養する難病患者への支援 分らしい生活を続けることができる 分らしい生活を続けることができる 難病患者及びその家族が自分らしく暮らすことができて 難病患者及びその家族が自分らしく暮らすことができて 在宅療養患者に必要な医療・支援の充実 難病患者が生活に満足を感じている割合 難病患者が生活に満足を感じている割合 在宅療養患者に必要な医療・支援の充実 いると感じる割合 いると感じる割合 難病患者向け相談窓口の設置・相談機会の提供 難病患者向け相談機会の提供 経済的負担軽減策の推進と情報提供 難病支援制度に関する情報提供 難病在宅支援従事者の資質向上 難病在宅支援従事者の資質向上 難病患者の家族や周囲の方が本人に継続した支援 2 家族の生活の質(QOL)が高くなっている 難病患者の家族への相談支援 2 家族の生活の質(QOL)が高くなっている ができるようにします 家族向け相談機会の提供 家族向け相談窓口の設置・相談機会の提供 2 必要な情報や支援が得られている割合 2 必要な情報や支援が得られている割合 災害時に難病患者が適切な対応をとることができる 3 災害時の対応が地域ぐるみでできる 災害時における難病患者への支援 3 難病患者が災害に備えた準備ができている ようにします 3 災害時の援助方法が明確になっている難病患者 3 災害時の援助方法が明確になっている難病患者 避難行動要支援者に対する災害時への備えの充実 避難行動要支援者に対する災害時への備えの充実 の割合 の割合

分野5.精神保健 分野5. 精神保健 おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <市民のあるべき姿> <基本理念> いつまでもいきいきと暮らすことができる いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標1> 生涯にわたる健康づくりを進めます 生涯にわたる健康づくりができる 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 (分野別最終アウトカム) (中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) サービスの状態(中間アウトカム) 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 具体的な取組 指標 指標 精神保健 分野 5 精神保健 精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及びそ 精神障害者や精神的健康に課題を抱える者 精神障害者及び精神保健に課題を抱える人への 1 精神障害者や精神保健に課題を抱える人が 精神障害者や精神的健康に課題を抱える人及びそ の家族並びに地域住民が、安定した社会生活を送 こころの健康づくりを支援します の家族が、安心して地域で生活を送ることができる の状態が落ち着いている 希望する場所で安心して生活できている ることができる 精神疾患がある方及びその家族が自分らしく暮らす 精神障害者及び精神保健に課題を抱える人を対 精神疾患がある人及びその家族が自分らしく暮らす 1 1年以上の長期入院者数(65歳以上) 1 1年以上の長期入院者数 いつでも相談できる体制づくりの強化(本人) ことができていると感じる割合 ことができていると感じる割合 象とした相談機会の提供 受診支援(勧奨) 医療が必要な人への受診支援 2 1年以上の長期入院者数(65歳未満) 精神科医療機関との連携強化 地域包括ケアシステム構築に向けての体制づくり 自殺対策の強化 精神科医療機関との連携強化 退院後支援フォロー体制づくり 自殺対策の強化 ピアサポート活動を支援し、地域での居場所づくりを 早期退院にむけての支援 精神障害者及び精神的健康に課題を抱える者を 精神障害者及び精神保健に課題を抱える人の家 2 精神障害者や精神保健に課題を抱える人の 2 精神障害者や精神的健康に課題を抱える者 持つ家族や周囲の方が継続支援をできるように取 族への支援 の家族が健康で落ち着いて生活できる 家族が孤立することなく安心して生活できている り組みます 2 精神障害者の家族教室・交流会の満足度 家族の孤立を防ぐ取組の実施 3 精神障害者の家族教室・交流会の満足度 家族の孤立を防ぐ取組の実施 いつでも相談できる体制づくりの強化(家族や周 精神障害者及び精神保健に課題を抱える人の家 族を対象とした相談機会の提供 家族の精神疾患に対する理解促進 家族の精神疾患に対する理解促進 精神疾患に対する理解者を増やします 社会全体が精神疾患を受入れることができる 心の健康づくりの推進 3 メンタルヘルスに関心のある市民が増えている 1 家族が精神の病気に罹った時に相談しようと思 3 メンタルヘルスという言葉を知っている市民の割

メンタルヘルスに関する知識の普及啓発

メンタルヘルスに関する研修会の開催

こころの健康づくりのための啓発

多職種協働による支援体制づくり

支援者に対する活動支援(スキル向上策)

う割合

おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <基本理念> <市民のあるべき姿> いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ いつまでもいきいきと暮らすことができる <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標2> 安全で快適な生活環境づくりを進めます 安全で快適な生活環境がある 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 (分野別最終アウトカム) サービスの状態(中間アウトカム) (中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) 具体的な取組 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 指標 感染症対策 分野 6 感染症対策 市民が感染症の脅威から逃れ、安心して暮らすこと 市民が感染症の脅威から逃れ、安心して暮らすこと 感染症予防の推進 感染症予防に取り組みます **L 市民が感染症にかからない(予防している)** 1 市民が感染症を予防している ができる ができる 感染症に関して不安なく暮らすことができていると感じ 1 麻しん風しん混合ワクチン接種率(1期、2期 感染症に関して不安なく暮らすことができていると感じ 1 先天性風しん症候群の発生件数 予防接種の実施 予防接種の実施及び相談 る市民の割合 接種率の平均値) る市民の割合 感染症・予防接種に関する正しい知識の普及・啓 感染症に関する正しい知識の普及・啓発 2 結核り患率(人口10万人対) 2 結核り患率(人口10万人対) 感染症発生動向調査及び情報提供 結核予防に関する知識の普及・啓発 結核予防に関する知識の普及・啓発 感染症予防に関する相談及び抗体検査、費用助 成の実施 2 市民が感染症にかかっても、安心して医療や 感染症の予防対策に係る体制の強化 感染症の早期発見、早期対応の推進 福祉サービスを受けることができる(重症化予 3 感染症集団発生対応率(調査・指導実施数 感染症発生時対応 /感染症集団発生施設数) 2 市民が感染症にかかっても、適正な医療や支 感染症の早期発見、早期治療を支援します H I Vの相談・検査 援を受けることができる(重症化予防) 感染症発生時疫学調査及び接触者健診・接触者 3 集団発生事例における入院患者の割合(入院 結核患者の療養支援 者数/有症者数) 健康調査の実施 H I Vの相談・検査(特定感染症相談検査)の 肝炎ウイルス陽性者支援 感染症の受診・服薬支援の実施及び相談の充実 感染症の発生時対応に係る体制の強化 肝炎重症化予防事業(初回精密検査費用助成 等)の周知・啓発及びフォローアップの実施 医療機関・施設等が実施する感染症対策への支 医療機関・施設等の感染症対策を強化・支援しま 感染症発生状況等、感染症対策に係る情報提 供、周知·啓発 施設等の感染症対策に係るマニュアルの改訂及び 医療機関・福祉施設等の資質の向上に係る研修の 会議の開催 実施及び会議の開催 感染症発生状況等、感染症対策に係る情報提 | 定期健康診断実施報告の適正な管理 供、周知·啓発 医療機関・福祉施設等の資質の向上に係る研修の 実施及び会議の開催

分野6. 感染症対策

分野6. 感染症対策

定期健康診断実施報告の適正な管理

おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画)

<市民のあるべき姿> いつまでもいきいきと暮らすことができる

<あるべき姿(基本目標1)> 安全で快適な生活環境がある

施策が出しているべき効果 ------目標指標 市民が受けているべき サービスの状態(中間アウトカム) プロセス指標又はアウトカム指標

1 人口10万人当たりの食中毒患者数(全国平

1 市民が食中毒にならない

均以下)

市民がなっているべき状態 (分野別最終アウトカム) アウトカム指標

生活衛生対策

市民が健康で衛生的な日常生活を送ることができる 食べ物や暮らしを取り巻く衛生面に不安なく日常生活 を送ることができていると感じる市民の割合 分野7. 生活衛生対策

第4期大津市保健医療基本計画

<基本理念>

いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~



<基本目標2> 安全で快適な生活環境づくりを進めます

取組の総称

飲食店等食品営業施設に対する監視指導の実施

HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理の定着促

市民向けの講習会やホームページ・SNSによる情報

食中毒発生時の原因特定と対策の実施

飲料水の衛生確保のための指導の実施

具体的な取組

取組の成果 (中間アウトカム) 指標 目指す姿 (分野別最終アウトカム) *ビ舞

1 4

1 食品の安全が確保されている1 人口10万人当たりの食中毒患者数(全国平均以下)

分野7 生活衛生対策

市民が健康で衛生的な日常生活を送ることができる 食べ物や暮らしを取り巻く衛生面に不安なく日常生活 を送ることができていると感じる市民の割合

食中毒の発生を防止します

飲食店等食品営業施設に対する監視指導の実施

食中毒発生時の原因特定と対策の実施

飲料水の衛生確保のための指導の実施

食品事業者への啓発(HACCP方式に沿った衛生管理の導入支援)

リスクコミュニケーションの実施

市民向けの講習会やホームページ・SNSによる情報 提供の実施

施設が原因となる感染症を防止します

生活衛生営業施設に対する監視指導の実施

生活衛生営業施設の営業者への啓発・支援

レジオネラ症発生時に微生物検査の実施

生活衛生に関する市民への啓発

動物の愛護と狂犬病の予防を推進します

適正飼養者増加のための啓発

所有者明示の徹底

所有者のいない猫への対策

動物取扱業者に対する監視指導の実施

特定動物飼養者に対する監視指導の実施

飼い犬の登録や狂犬病注射に関しての周知啓発

2 市民が衛生的な生活環境で暮らすことができる

2 指導実施施設における翌年の苦情再発率

3 狂犬病予防接種率

生活衛生対策の推進

リスクコミュニケーションの実施

提供の実施

食の安全・安心の推進

生活衛生営業施設に対する監視指導の実施

生活衛生営業施設の営業者への啓発・支援

レジオネラ症発生時の微生物検査の実施

生活衛生に関する市民への啓発

動物愛護と狂犬病予防の推進

適正飼養者増加のための啓発

所有者のいない猫への対策

動物取扱業者に対する監視指導の実施

飼い犬の登録や狂犬病注射に関しての周知啓発

2 市民が衛生的な生活環境で暮らすことができる

2 指導実施施設における翌年の苦情再発率

3 狂犬病予防接種率

かかりつけ医・医療の適正受診についての啓発

かかりつけ医・医療機能の促進

かかりつけ医・医療の適正受診についての啓発

2 市民が医療機関を適正受診することができる

2 搬送件数に占める軽症者割合

小児救急体制を確保します	2 市民が適正に救急医療を利用することができる
	3 救急搬送で適正に利用している割合 (救急搬送で軽症を除いた割合)
小児救急診療に関する市民啓発	
後方医療機関での休日、夜間における受入れ体制	
を確保します	
休日、夜間における救急医療体制の確保	
休日、夜間における救急医療に関する市民啓発	
歯科での休日における受入れ体制を確保します はロにおける場合と表といせまえた対象をの容	
休日における歯科救急患者に対する歯科診療の確保	
休日における歯科救急医療に関する市民啓発	

医療などの安全・安心を確保します

医薬品等の安全確保と適正使用のための監視指導・

普及啓発(監視指導計画に定めた監視指導・収去

病院の医療安全担当者に対する研修会の実施

医療機関への立入検査の実施

施術所の安全管理体制の強化

医療安全支援センターの適切な運営

検査の実施)

3 市民が安全な医療などのサービスを受けることができる 4 医療安全対策に関する委員会を設置している病院の割合 4 市民が不安なく医療機関などを利用することができる 5 医療相談に対する相談者の納得度

医療体制・医療安全 様式2

医療等の安全・安心の推進	3 市民が不安なく医療機関などを利用することができる
医療機関への立入検査の実施	3 医療相談に対する相談者の納得度
医薬品等の安全確保と適正使用のための監視指導・ 普及啓発	

施術所への監視指導の実施

医療安全支援センターの適切な運営

4 新型インフルエンザ等感染症に対する医療を提供

する医療機関等の数

分野9. 健康危機管理 分野9. 健康危機管理 おおつ保健医療プラン2019(第3期大津市保健医療基本計画) 第4期大津市保健医療基本計画 <市民のあるべき姿> <基本理念> いつまでもいきいきと暮らすことができる いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ~健康は自分で・地域で・社会でつくる~ <あるべき姿(基本目標1)> <基本目標3> 安心して暮らせる医療体制づくりを進めます 安心して暮らせる医療体制がある 市民が受けているべき 市民がなっているべき状態 取組の成果 目指す姿 取組の総称 施策が出しているべき効果 (分野別最終アウトカム) (中間アウトカム) (分野別最終アウトカム) サービスの状態(中間アウトカム) 目標指標 プロセス指標又はアウトカム指標 アウトカム指標 具体的な取組 指標 健康危機管理 分野9 健康危機管理 災害が起こったとき、市民の健康面の安全を確保し 1 市民が災害時に必要な保健医療を受けることが 1 市民が災害時に必要な保健医療の提供を受け 健康危機管理体制の整備 災害が起こったとき、市民が健康を保つことができる 災害が起こったとき、市民が健康を保つことができる できる ることができる 万一の発生に備え、体制整備に努めており、今後も 健康危機に対応できる保健所の体制・機能を整 災害時における医療機関の被害状況の情報収集 . 地域災害拠点病院数 平時における保健所対策本部体制の整備 中間アウトカムの達成率 継続的に行う 備するための訓練・研修の実施回数 健康危機に対応する人材の育成 災害時における医療提供体制の構築 2 市民が災害時に避難所、自宅での生活を健康 2 市民が災害時に避難所、自宅等での生活を健 災害時における情報収集・共有体制の整備 原子力災害発生時の市民の健康被害への備え に送ることができる 康に送ることができる 2 市民の健康維持に従事する保健師など専門職の 健康危機に対応できる人材を育成するための訓 災害時における健康相談 災害時における医療提供体制の構築 練・研修の参加者数 災害時における衛生的な環境の確保 災害時における健康相談体制の整備 3 自然災害等を想定した訓練・研修の実施回数 災害時における妊産婦、難病患者、透析患者、精神 災害時における妊産婦、難病患者、透析患者、精神 患者への避難情報提供体制の整備 患者への避難情報提供 平時における災害対応訓練の実施 災害時における衛生的な環境の確保 健康危機管理 分野9 健康危機管理 新型インフルエンザ等が発生したとき、市民の健康面 新型インフルエンザ等が発生したとき、市民が健康を保 新型インフルエンザ等感染症が発生したとき、市民が 新型インフルエンザ等感染症発生時の感染拡大防 3 市民が感染症に関する必要な情報を把握して 3 市民が新型インフルエンザ等に感染しない の安全を確保します いる 健康を保つことができる つことができる 止体制の整備 3 新型インフルエンザ等感染症の発生状況・発生に 万一の発生に備え、体制整備に努めており、今後も 新型インフルエンザ等感染症に関する情報収集と提 新型インフルエンザ等に関する情報収集と提供 中間アウトカムの達成率 国内発生があっても市内で感染者がでない 継続的に行う |備えた準備状況等に関する情報発信回数 新型インフルエンザ等に関する予防体制の整備 新型インフルエンザ等感染症住民接種体制の整備 4 市民が新型インフルエンザ等に感染しても必要 4 市民が新型インフルエンザ等感染症に感染して 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大防止 新型インフルエンザ等の感染拡大防止 な医療を受けることができる も必要な医療を受けることができる

5 新型インフルエンザ等に対する医療を提供する医

療機関等の数